自治センターだより



29年2月号

編集と発行 山橋自治センター

発行責任者 十文字 秀 男

発 行 日 平成29年2月1日

電 話 0247-26-1065

F A X 0247-26-3109



自治協議会設立に向け一歩前進

山橋自治協議会設立準備委員会(添田善司委員長)は 昨年の「地域づくり部会」「安心安全部会」に続いて 1月11日に「福祉部会」13日に「教育・学習部会」 が開催され、部会長、副部会長が選任された。

新体制は次のとおり。

設立準備委員長 添田善司「地域づくり部会」部会長 添田勝美、副部会長 須藤一男、大竹克幸、大平周一、 小豆畑重夫、小木文男。「安心安全部会」部会長 渡辺



協議会の説明をする水野係長

忠夫、 副部会長 小木豊治、添田弘子、添田善知、川島龍男。 「福祉部会」部会長 小豆畑正信 副部会長 矢内鷹嗣、須藤洋子、鈴木誠治、十文字芳男。「教育・学習部会」部会長 鈴木康正 副部会長 小木義成、小木啓子、緑川喜三、鈴木勝徳、添田昌直。

それぞれのもとに部会員が配備されている。

これらの体制で29年度設立総会に向けて、準備委員会、役員会等の会議を計画的に進めていくことになる。



アクアワールドの玄関で参加の児童たち

山橋の5育成会で社会学習

山橋地区青少協(鈴木康正会長)主催で、15日 5育成会合同による社会学習を行った。

児童・保護者合わせて44名が参加し、茨城県 水戸のアクアワールド大洗とめんたいパーク等を 見学した。水族館では、イルカとアシカのショー や鮫、クラゲなどの海の生物聖体標本を見学・観 察をした。

車中では校歌を歌ったり、クイズをしたりして 各育成会の交流をした。

2月の主な行事

日	曜	行 事 予 定	備考	日	曜	行 事 予 定	備考
9	木	パソコン教室	自治センター	16	木	健寿大学	自治センター
10	金	ふれあい事前会議	自治センター	24	木	パソコン教室閉講	自治センター
15	水	ふれあい広場第3班	自治センター	24	木	推進員会議	自治センター

議会報告会と町民の意見を聞く会

1月17日自治センターで第5回の議会報告会と町民の意見を聞く会が開催された。

山橋地区民など25名と町議会議員7名で、合わせて33名の参加となった。

開会の言葉のあと出席議員の紹介があり、続いていて前回第4回の議会報告会での質問・要望に対する町当局の回答について、説明があった。

続いて意見交換に入り、陳情・請願についてや 道路・水の問題、最終処分場の問題等についての 活発な意見交換がなされた会になった。



熱心に説明を聞く参加者



ふるさと山橋カルタをする会員

健寿大学で新春カルタ大会

健寿大学(矢内鷹嗣委員長)は、19日1月の 行事として「ふるさとカルタ大会」を開催した。

町民かるたで個人戦と団体戦を行った。

個人戦は、1位矢内鷹嗣さん、2位添田 都さん、 3位添田ナカさんでした。団体戦は、男女対決で 3勝1敗で女性の勝ちでした。

続いて男女混合で「ふるさと山橋かるた」を 2回楽しんだ。お手付きがあったりして皆で大笑い で楽しんだ。

味噌作り講習会で受講者募集

山橋まちづくり委員会産業おこし部会(大平周一会長)は、 2月19日(日)に山橋自治センターで味噌作り講習会を行い、 受講者を募集している。例年どおり麹作りから始める本格的な 味噌作りを体験するもの。

材料費500円で10~15名程度募集する。

問合わせ、申込みは山橋自治センターTel26-1065まで。

土砂災害防止法に基づく説明会

1月24日自治センターで、災害指定区域の説明会が行われた。 福島県県中事務所と町役場建設課の担当者が説明にあたった。 指定予定箇所は、山形区は急傾斜地で堂ノ上・笹目田地区、板橋 区は土石流と急傾斜地で高原・水境地区となっている。

万一の災害の場合の危険地域指定で、地域住民に周知するのが目的とのこと。

詳しくは各区の区長さんに問い合わせてください。

長寿会連合会 役員会開催

長寿会連合会(矢内鷹嗣会 長)は1月21日女庭温泉で2 0名が参加し、役員会を開催し た。議題は、①平成29年度事 業実施基本方針 ②次回の日 程 ③会員の拡張等について 話し合った。また、その他の項 目では、広報委員会から、広報 作成についての報告があった。

会議終了後、新年会に移行し 懇親を深めた。カラオケ等も行 い楽しい一日を過ごした。